

## 開設6年目を迎えて

「目に青葉 山ほととぎす 初がつお」

新緑が目に見える頃となりました。当施設も開設6年目を迎えました。療養床もほぼ満床で推移し、デイケアも毎日23名くらいの利用があり、運営面も一応順調に経過しております。最初は中間施設と呼ばれておりました。病院と家の中間の施設という意味です。約30年前に日本でも急速な高齢化が始まりました。約30年前に高齢者の入院が長期化した場合、原疾患が治癒されば、一度中間施設へ転院してリハビリ等で基本的な動作・体力低下を改善したり、生活環境の調整をして在宅療養がスムーズに再開できるようにとの目的で開始されました。当施設では開設当初より在宅復帰支援をスローガンに掲げ、家族との絆を大切に運営しております。幸いにご家族の面会も多く、市内の老人保健施設の中でもトップクラスで推移してまいります。入所中でもできる限り、各々普段通りの家庭の雰囲気をお守りしてゆきたいと思っております。今後共宜しくお願い致します。

理事長 近藤 泰正

## 職員紹介



・じゅんぽう事務所の勤務を始めて一年余りが経つた市田真依子さん（右側）  
・高山栄養士がチョコ棒にぶりつく姿を毎日後ろから眺めながら一本くれへんから狙つておられます。座右の銘は「好物、笑顔」  
・じゅんぽう開設以来、皆様の胃袋を掴んで離さない管理栄養士の高山陽子さん（左側）  
「机の下に常備してあるチョコ棒」がなくなるからさまにそわそわと焦り出す。究極の献立を立てるため施設内をそわそわと歩き回つておられます。座右の銘は「胃袋、万歳」

## 委員会便り（接遇委員会）

じゅんぽう接遇委員会では、スタッフをご利用の皆様ご家族様に丁寧な対応でいられるよう、様々な取り組みを行なっています。

その一つが、「自己目標の掲示」です。スタッフに接遇に関する目標を書き、心に貼り出す方法です。自分がどんな期間を心掛けていきたいか「宣言」し、一定期間は自分自身を見直し、反省する事が大事だと考えています。また、この振り返りの作業は欠かれません。又、他にも半期ごと接遇意識調査を実施するなど、反省する機会をいくつか設けています。

他スタッフからの一言で、自分の接遇を振り返られるような取り組みも考えました。「ありがとうカード」という言葉をモモには「あなたとの交換し合います。メモには「あなたのこんな対応が良かったよ」というプラスのメッセージを書き、こんな対応が良かったと改めたい新鮮な感じになります。皆で良い所を探し、気持ちを合せていこう！と考えています。

更に一年に一度、外部から講師をお招きした「接遇研修会」を開催しました。外部から講師をお招きした「接遇研修会」を開催しました。外部から講師をお招きした「接遇研修会」を開催しました。



今年度も宜しくお願い致します

## 相談室より

「介護保険負担限度額認定証」の更新はもうお済みでしょうか。

平成二十二年四月三十一日までは認定証をお持ちの方には四月下旬に管轄区役所福祉課より更新案内の書類が届きます。六月三十日限りです。六月三十日限りです。六月三十日限りです。

もし更新手続きが取れない場合は平成二十二年七月いから認定が下りませんので、ご注意下さい。申し込み可能な施設からの申し込み手続きも可能です。お気軽にお問合せ下さい。

介護保険負担限度額認定証とは？  
介護保険負担限度額認定証とは、介護保険料を減額するためのものです。市町村が認定し、申請者が利用する施設やサービスに提出する必要があります。

## ご利用者様俳句

満開の  
しだれ櫻や  
花の傘  
3階より

風ふけば  
目の前広がる  
華ふぶき  
3階より

櫻咲く  
弥生の空は  
春爛漫  
4階より

丸山の  
夜桜ほろよい  
ふらふらと  
デイケアより

風に揺れ  
薄紅なりの  
櫻咲き  
デイケアより

じゅんぽうでは月に一度、ご利用者様、職員で俳句大会を開催しております。毎月、ご利用者様から素晴らしい俳句が生まれます。職員も勉強させて頂いております。